

知床の森から

平成8年8月
第44号



チシマギキョウ
(キキョウ科)

北見営林支局
知床森林センター

☎ 099-41 北海道斜里郡斜里町本町11番地
☎ 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160

夏の森を歩く

きれいな花
すてきな自然を楽しむ

第32回「森林レクリエーション・In知床」『夏の知床・自然観察会』が8月24日(土)、知床の遙香別山ろくろの林間の旧国道を舞台に開かれました。参加者は北見市・美幌・訓子府・斜里の名町から21名の男女が参加し、その中には知床の森の中を歩くのは初めてという人が14人おりました。

今回知床森林センターが企画したイベントのテーマは、知床の夏の森で自然観察をとおして、森のすばらしさを知っていただくというものです。イベントの実質的なスタート地点は、観光客でいつもにぎわっているオシンコシンの滝の上部の高台からです。

軽い柔軟体操のあと、一行は森の中に入りました。夏の森は光をうばいあうように一杯に開いた木々の葉でおおわれ、涼しくて歩行には最適でした。道に点々と落ちていくオニグルミの実に、やがて秋が来ることを思い知らされます。高くのびるトドマツやエソマツの太木、静かな小沼や落石を続けるマムシ岩と呼ばれる大きな岩、若い熊がしるした爪あとの付いた木やクマゲラのあけたさまざまな孔、きびしい気候を証明する凍裂した木や雪折れ木、未来を見すえて北見営林支局が設置したエソマツ・トドマツの遺伝資源保存林など、森林インストラクターによる説明をみなさん熱心に聴いていました。コース沿いにはカワミドリ・ハンゴンソウ・ヨツバヒヨドリなどがきれいに咲いて目を楽ませてくれました。そして中には目の早い人たちもいるもので、タモキノコ(タモギタケ)を見つけ、歓声を上げて採取していました。眺めのいい場所で昼食をとったあと、一行はにぎやかに行動を開始。



橋のないオシヨコマナイ川を楽しく渡り、オホーツク海を眺めました。

最後は胸高直径138cmのオヒョウニシの大木を背に記念写真を撮りイベントを終えました。

全行程3.4km、ゆっくり歩きながら、自然が作りだしたカサガサの場面を、好奇の目で観察して夏の知床の森をあとにしました。

知床五湖で 観光地クリーン 知床山峠で キャンペーン

平成8年度、日観協観光地美化キャンペーンが、7月28日(日)知床五湖・知床峠で実施されました。

このイベントは斜里町役場に事務局を置く9構成団体が(知床森林センターもその一員です)町長の呼びかけで毎年実施しているものです。

今年も観光シーズンの最中、センター職員も参加し知床を訪れた多くの観光客にゴミ袋を手渡し、ゴミの持ち帰りを呼びかけました。

かわい子子供さんを交えた草やかな一団の呼びかけに、観光客も笑顔で応じておりました。



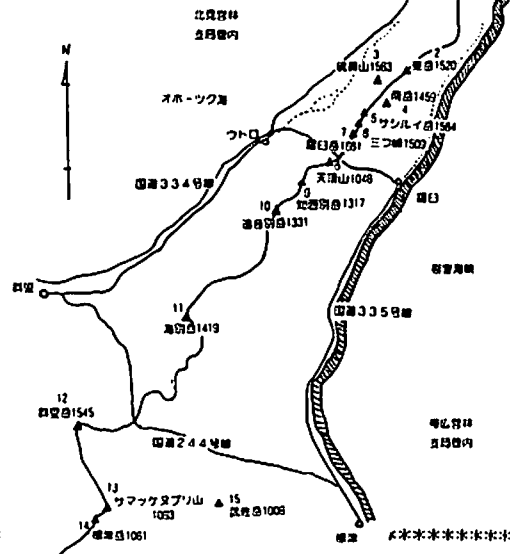
自然公園 クリーンデーに参加

8月4日(日)、自然公園における全国一斉の美化清掃運動が、瑛璃町・斜里町・羅臼町の呼びかけで実施され、呼びかけに応じてセンターも参加しました。

開会式は両町から参加した団体が知床峠に集まって開かれました。峠では峠駐車場に居る観光客にゴミ袋を手渡ししてゴミの持ち帰りを呼びかけ、また町ごとに国道・道道・町道の観光道路のゴミを回収し、美化活動に汗を流しました。両町に跨がる知床国立公園はその多くが広大な自然に恵まれ、観光に登山にと毎年沢山の人が入りこむ所です。ここを訪れる人たちに、この美しい自然を満喫して頂くための一つの行事は今年も終了しました。



知床半島周辺の山々



賑わう夏山登山

観光客で賑わった知床。同時に登山者で賑わった知床でもあった。いま中高年層において登山ブームとが、社会現象の感すらあるらしい。事実斜里岳・羅臼岳の二座の人気はすさまじい。

知床半島周辺には多くの山々があり、硫黄山・羅臼岳・斜里岳・標津岳・武佐岳だけに登山道がある。南岳・サシルイ岳・三ツ峰は羅臼岳・硫黄山縦走コース上にあつて立ち寄れる。

羅臼岳と斜里岳は深田久弥氏の『日本百名山』の中にあり、ともにその山容は人を魅了して離さず、登山は期待を裏切らない。人気のあるゆえんだ、ほかにルートがすり抜りさびれてしまった海別岳・ルートのない知床岳や遙香別岳なども気のそられる山である。知床訪問の計画には、知床半島周辺の夏山登山をぜひメニューに加えてほしいと思う。より行き思い出づりのために。